

平成 28 年 6 月 20 日

外務省国際協力局  
民間援助連携室長 殿

(団体名) 公益財団法人PHD協会  
理事長 水野 雄二

### 相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 企画名 : 「第14回NGOスタディーツアー合同説明会」  
※出張形態 : 相談対応ブース
2. 出張者 : 坂西 卓郎 ((公財)PHD協会職員)  
古寺 瑞代 ((特活)関西NGO協議会)
3. 実施日 : 2016年6月18日(土) 13時30分~17時00分
4. 場所 : 龍谷大学 大阪梅田キャンパス  
(大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンウエストプラザ14階)
5. 対象者 : 一般、学生81名
6. 実施報告 : 株式会社マイチケットが主催し、龍谷大学ボランティア・NPO活動センター、特定非営利活動法人 関西NGO協議会が共催するNGO合同(13団体)によるスタディーツアー説明会にNGO相談員ブースを関西NGO協議会とPHD協会の合同で出展した。  
内容としては、スタディーツアーの内容についてNGO職員又は参加経験者から詳しく話を聞くことができ、かつ多くの団体が一堂に会しているというものであった。  
今回、この説明会でブースを出展しスタディーツアーとは何かという質問や、参加した後どのような関わり方や生かし方ができるのかなど、その後のキャリア形成についての相談対応やその他国際協力に関する相談に対応することを目的とした。  
参加者の多くは国際協力に関心がある学生であったこともあり、スタディーツアーや国際協力・NGO全般に関する相談等もあったが、一番多かったのは就職相談であった。大学を卒業した後の進路の一つとして国際協力NGOでの就職を考えているため、それに繋がるスタディーツアーを考えているとの相談もあった。他には「医者をやっているが、外科ではなく内科なので予防や公衆衛生の分野で経験を生かして活動したい」、「NGO職員だが、今後企画型のスタディーツアーをやりたい」というような専門的な質問も寄せられた。総計は2団体で40件であった。内訳はスタディーツアー関連が4件、就職関連が17件、その他

19件であった。

開催時間中はひっきりなしに相談者が訪れたこともあり、一団体では対応できなかつたと思われる。相談者からの評判が概ね好評であったこともあり、上記のように多くの相談及び相談員事業のPRを行えたことは費用対効果としても意味ある出張サービスであったと思われる。

7. 添付画像：別紙に当日の様子を4枚添付



①第12回NGOスタディーツアー合同説明会にて相談対応中の様子



②第12回NGOスタディーツアー合同説明会にて相談対応中の様子



③12回NGOスタディーツアー合同説明会にて相談員ブースの様子



④12回NGOスタディーツアー合同説明会全体の様子

平成28年7月8日

外務省国際協力局  
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人名古屋 NGO センター  
理事長 西井和裕

NGO相談員による出張サービス実施報告書

NGO相談員による出張サービスを実施いたしましたので、下記の通りご報告致します。

記

1) 企画名：ぼらマッチ！なごや 見つけよう！あなたにぴったりのボランティア

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ ）】

出張者氏名：(特活)名古屋 NGO センター 田口 裕晃

(特活)アイキャン 吉田 文

2) 主催等団体名：名古屋市

3) 催しの概況：

(i) 実施日：2016年6月25日(土) 11時00分～16時00分

(ii) 場所：愛知大学 名古屋キャンパス 講義棟5階

(愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6)

(iii) 相談対応件数：31件

(iv) 企画概要：来場者からの、ボランティアやNGOの活動等についての質問や相談に応じ、国際協力やNGO活動に参加するきっかけをつかむよう後押しする。

主な相談内容は以下の通り。

- 自分にあうボランティアを探している。紹介してほしい。
- 国際協力関連のところではどのようなボランティアができるのか？英語は活かせるか。
- NGO団体の活動内容全般を聞きたい。
- NGOに就職するために必要とされる能力はどのようなものか。
- NGOとJICAの関係性について。
- 活動資金の集め方について教えてほしい。
- フェアトレードについて詳しく教えてほしい。
- NGOと教育機関の連携事例を聞きたい。
- 英語が使えるボランティアを紹介してほしい。
- 外国の方と関わるボランティアを紹介してほしい。
- 鉛筆を寄付したいがどうしたらいいか。
- ボランティア説明会で使えるアイスブレイクを紹介してほしい。

#### (v) 所感及び効果等

##### <名古屋 NGO センター>

本イベントは昨年度同様、名古屋市と名古屋市内に拠点を置く NGO、国際交流協会、大学、社会福祉協議会等が参加して企画されたものであった。アイキャンでは、「スタディツアー」や「ボランティア」、名古屋 NGO センターでは「キャリア相談」や「中部地域全体の概況」等それぞれの得意分野を活かして、対応することができた。また、名古屋 NGO センターやアイキャン以外にも、愛知県に拠点を置く NGO 4 団体や、名古屋市の国際交流協会が参加しており、相談内容によっては、他の出展団体が対応する、といった連携をすることができた。また、出展 NGO や視察に来ていた行政機関からの相談にも応じることができた。

##### <アイキャン>

イベントの目的通り、当日はボランティアを希望する学生・社会人が多数参加し、多くの相談に対応した。特に目立ったのが、自分の能力や想い、希望にマッチする団体の探し方であった。ご希望に合う団体を紹介したり、検索の仕方等をお伝えすることで、地域の NGO とボランティア希望者をつなげることができたと感じる。またボランティアを希望しつつも NGO についての知識をまだお持ちでない方々からのご相談も多くお受けした。世界の現状と NGO の活動内容、日本の ODA 等を包括的に言お伝えすることで国際協力への関心自体を高めることができたと感じている。

#### 4) 写真

左が名古屋 NGO センター、右がアイキャン。背後やブースの間に相談員のポスターを掲示して PR した。



以上